

記者会見
5.2.20
資料 5

### 3本柱で教育研究所の機能強化 旧大根幼稚園舎にE-L a b開設

「デジタル化の推進」、「不登校児童生徒の支援体制強化」および「新たな幼児教育・保育の展開」を3本柱に、さらなる教育水準の改善・向上に取り組むため、新たに旧大根幼稚園舎に教育研究所を移設し、機能強化を図ります。



旧大根幼稚園跡地を拠点に

移転後の教育研究所の愛称は、教育 (Education)、電子 (Electric)、幼児 (Early Childhood) への支援を目標とする「はだのE-L a b (イーラボ)」とします。

#### 1 これまでの取り組み

不登校支援や教職員研修を所管する教育研究所では、GIGAスクール構想の実現に向けたICT機器の運用支援やICTマイスター制度の導入等、児童生徒並びに教職員のICT利活用を促進してきました。

今後も、重要施策となる教育水準の改善・向上を図るため、教育分野におけるDX化はもとより、幼児教育・保育の質の充実に向け、東海大学児童教育学部等と連携して令和6年度の乳幼児教育・保育支援センター設立にも着手することとしています。また、喫緊の課題である大根・鶴巻地区での不登校対策にも取り組む必要があります。

#### 2 強化する主な機能

##### (1) 教育分野におけるデジタル化の推進

～10年先を見据えたデジタル田園都市の担い手づくり～

- ア CBT化の推進による教育水準の改善・向上
- イ 大学・民間企業等と連携したデジタル教育の推進
- ウ DX化による子どもと向き合う時間の確保

##### (2) 不登校児童生徒の支援体制強化

～デジタルを活用した新たな学びの創出～

- ア デジタル教材を活用した不登校支援の充実
- イ 訪問型個別支援教室「つばさ」のサテライト運用

ウ 不登校関連施策の戦略的な見直し

**(3) 乳幼児教育・保育支援センターの設立準備**

～公私・園種の枠を超えた協働推進体制構築～

ア 園小接続カリキュラムによる幼保小接続の質の向上

イ 大学等との連携による専門性向上

ウ 幼保連絡協議会の見直しによる新たな協議の場づくり

**3 開設日**

令和5年5月1日

**問い合わせ**

教育研究所 電話0463(86)9102